

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	鍋山第二	<p>【旧寺尾南小学校跡地の利活用について】 平成24年度から4回提案し、今回で5度目の提案となります。平成27年度の提案に対して、管財課より本市の財政状況や要望を踏まえ、地域交流の場としての整備を基調として、寺尾周辺地区の特性に合った施設として再利用していく検討を行っているとの回答でしたが、今まで一向に進展が見られません。 寺尾地区自治会として次のとおり再度提案いたします。栃木市の例えば①ロータリークラブ②商工会議所③青年会議所④ライオンズクラブなどの各種団体、または、開業医や介護施設経営者等に対して、校舎跡地の利活用について接触していただけないでしょうか。その中から良い案が生じるものと思います。物件の価値のあるうちに跡地のより良い利活用の検討をお願いいたします。</p>	<p>【総合政策課】 整備を基調として、検討を行ってまいりましたが、上水道に未接続であること、小学校という特殊かつ大規模な施設であること、建設に際し国の補助金を受けていることから用途の変更や施設の改修等に一定の制限があることなどが課題となっております。 一方で、栃木インターからのアクセスが良好で広い地域からの利用が見込めること、施設自体は比較的新しいものであることなどの好条件があることも認識しております。また、平成29年度には旧寺尾南小学校校舎の上水道への接続工事を実施するなど、先述の課題解決に向けても取り組みを進めております。 現在、市のホームページ及び文部科学省が全国の廃校施設等情報を一括してホームページで紹介している「みんなの廃校プロジェクト」において、寺尾南小学校の施設情報を公表できるよう準備を進めております。今後、このような手段により活用方法等に関する提案を広く募集するとともに、ご提案いただいた各団体等への接触を行い、利活用に関するご意見を頂戴してまいります。 また、すでに企業団体等から利活用に関する問い合わせや提案もいただいておりますので、これらの意見も踏まえて、地元の皆様のご意見を十分に取り入れながら、具体的な利活用案の作成をスピード感を持って進めてまいります。</p>	<p>【総合政策課 TEL:21-2302】 旧寺尾南小学校跡地の利活用について、その後の経過をご報告いたします。 平成29年8月末から12月まで、市ホームページ等において利活用案の提案募集を行い、32件の意見提案がありました。 現在、庁内関係課職員による検討を行い、地域活性化や実現可能性等の視点から、提案内容の精査・絞り込みを進めており、数案程度に集約を進めています。 また、各案の実現に際し、法的な問題点などを県と協議を重ねながら、確認・整理を進めております。 今後、実現に向けた課題等の整理ができましたら、改めて地域の皆様のご意見を伺いつつ、最終的な利活用案を選定してまいります。</p>
2	大久保	<p>【生活バス(ふれあいバス)の運行経路の追加と時間帯での運行経路変更について】 ふれあいバス寺尾線を日々利用していますが、永野川の東に面する上大久保地区、永倉地区及び駒岡地区等については、運行ルートから外れているため、バス利用者はバス停から自宅までの約1キロメートルの距離を歩かなければならず、特に、重い買い物の荷物を持った高齢者にとっては大変辛い状況です。 このため、星野町から尻内東地区へ延びる大久保バイパスを運行ルートに加えていただければ、高齢のバス利用者にとっては非常に助かりますのでどうかご検討願います。なお、終日運行が難しければ、昼の時間帯だけでも運行いただけないかも合わせてご検討願います。</p>	<p>【交通防犯課】 日頃よりふれあいバスをご利用いただき、お礼申し上げます。 ご要望のバイパスへの運行についてであります。ご要望はごもっともと存じますが、市がふれあいバスの運行ルートを見直す際には、現在より利用者が増えることになるかどうかを考慮せざるを得ないこともご理解をいただきたいと存じます。 現在、ふれあいバス寺尾線につきましては、ふれあいバス全10路線中、最も利用者数が多く、日中の時間帯にも多くの方にご利用いただいている状況にあります。 ルートの変更につきましては、既存利用者への影響が大きいため、ご要望につきましては、寺尾まちづくり協議会生活バス利用促進部会(旧寺尾地区バス利用促進協議会)様とご相談させていただくなど、今後も検討させていただきますと考えております。 また、市では、ふれあいバスのほか、市内全域を自宅から目的地まで送迎する予約制・乗合の公共交通であります「蔵タク」を運行しており、買い物目的の方にも多く利用いただいております。 この蔵タクの利用登録につきましては、大久保町にお住まいの方の35.1%が、尻内町の方の17.1%が登録を済ませており、栃木市平均11.2%と比較しましても、多くの方にご登録をいただいている状況にありますので、是非、蔵タクもご利用いただきたいと思います。</p>	<p>【交通防犯課 TEL:21-2153】 ふれあいバス寺尾線のご要望の運行ルート変更につきましては、路線を変更することにより影響のある停留所が10か所ございまして、その停留所の平成28年度の利用者数は、12,139名の実績となっております。 また、平成29年4月から平成30年1月までの期間におきましても、10,397名という多くの方が利用されており、ルートの変更は、現在バスを利用されている方への影響が大きい状況にあります。 ふれあいバス寺尾線の見直しにつきましては、これまでも寺尾まちづくり協議会生活バス利用促進部会へお話をさせていただいておりますが、運行には慎重な検討が必要と考えておりますので、当面は蔵タクをご利用いただきたいと思います。</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告																																			
3	尻内第二	<p>【有害獣問題について】 有害獣問題については、今年も有害獣が田植えしたばかりの苗を食い荒らすなど農作物への被害が出ており、また、住宅近くまで出没し迷惑している状況です。被害防止のために防護柵を設置するなどの対策をしているが、有害獣の駆除が一番と考えており、猟友会をはじめ多くの方の協力が必要であると思います。 猟友会においては高齢化や会員が減少しているようですので、多くの方が協力できるよう、狩猟の資格を持ち捕獲を希望する方には捕獲を許可するなど、寺尾地区全体で少しでも有害獣を減らせる対策及び実施をご検討願います。</p>	<p>【農林整備課】 本市では、有害鳥獣対策として、①侵入防止柵設置による被害防除、②猟友会による有害鳥獣捕獲駆除、③野生動物が人里に近づきにくくするための里山林整備、の大きく3つの施策を推進しています。 昨年度の有害鳥獣(イノシシ・シカ・サル)の捕獲頭数については、県全体で16,695頭捕獲されており、本市では、2,638頭、寺尾地区では、648頭となり、いずれも過去最多記録だった平成26年度の捕獲頭数を大きく上回りました。 また、昨年度の野生鳥獣による農作物の被害額ですが、県全体では、前年比1,100万円増の3億8,300万円になる中で、本市の被害額は前年比393万円減の776万円となりました。 これは、市民や自治会等による侵入防止柵の設置の推進、猟友会のご尽力による有害鳥獣の捕獲駆除の増加が結果を出してきていると考えられますが、ご指摘のとおり農作物への被害は引き続き深刻な状況にあると認識しております。 市の有害駆除従事者についてのご質問ですが、寺尾地区に限らず原則として各猟友会から推薦された地元の状況に精通した有資格者の方をお願いしておりますが、わなで捕獲した有害獣を比較的安全に処分するためには銃が必要となることから、基本的には銃とわなの両方の資格を持った方をお願いすることが多くなっております。そのため、今後は、現在のわな猟免許取得更新支援の継続や、新たに銃猟免許取得更新支援の検討、また、駆除従事者の高齢化や、新規銃猟免許所持者の確保・育成など有害捕獲の継続に関わる問題について猟友会とも協議検討を進め、寺尾地区をはじめ市全体の有害獣被害の軽減に努めてまいります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">【寺尾地区】有害獣捕獲数</th> </tr> <tr> <th>獣種・年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イノシシ</td> <td>208</td> <td>507</td> <td>108</td> <td>498</td> </tr> <tr> <td>シカ</td> <td>44</td> <td>54</td> <td>70</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>サル</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>252</td> <td>562</td> <td>179</td> <td>648</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td>-</td> <td>310</td> <td>-383</td> <td>469</td> </tr> </tbody> </table>	【寺尾地区】有害獣捕獲数					獣種・年度	H25	H26	H27	H28	イノシシ	208	507	108	498	シカ	44	54	70	150	サル	0	1	1	0	合計	252	562	179	648	前年比	-	310	-383	469	<p>【農林整備課 TEL:21-2289】 猟友会の高齢化・会員減少への支援策については、現在のわな猟免許取得・更新支援制度の利用促進のため、引き続き周知強化に努めてまいります。 また、有資格者の有害駆除従事者への参加につきましては、寺尾地区の猟友会の御尽力もあり、平成30年度から有害駆除従事者が増員になる予定です。 なお、銃猟免許取得更新支援については、引き続き県内他市町の状況を調査し、検討を進めてまいります。</p>
【寺尾地区】有害獣捕獲数																																							
獣種・年度	H25	H26	H27	H28																																			
イノシシ	208	507	108	498																																			
シカ	44	54	70	150																																			
サル	0	1	1	0																																			
合計	252	562	179	648																																			
前年比	-	310	-383	469																																			
4	鍋山第一	<p>【寺尾地区内の学童道路の整備について】 幅員4メートル未満の道路に面した住宅の建て替え等においては、道路の中心線から2メートル後退して建築することになりますが、後退した部分を市に提供することで道路部分が広がった時には、少しでも安全に通行できるよう、側溝を含めた道路の整備をお願いしたいと思います。 鍋山第一自治会地内の寺尾中学校入口西方の市道14044号線において、道路部分が広がったことから、舗装及び側溝の整備をお願いしたい。 また、鍋山町第三自治会地内の鹿島神社東方の市道14037号線において、道路部分が広がったことで既設の側溝を自動車を通りやすくなり、ぐらついた蓋の上を通るたびに騒音が起きて困っていることから、側溝の移設を含めた道路の整備をお願いしたい。いずれも学童が通う道路ですが、この他にも道路部分が広がった時には道路を整備いただき、安全な道路に改善されていくことを望みます。</p>	<p>【道路河川維持課】 ご要望の後退用地部分の整備についてであります。現在、後退用地は用地の寄付にかかわらず、隣接地権者からの要望に基づき、簡易舗装を実施しているところであり、側溝整備などは現在のところ実施していない状況であります。 また、後退用地内に側溝が残った場合の移設につきましては、路線の一部の側溝移設は、側溝がクランク状になり水の流れを阻害したり、部分的には側溝が車道を横断することで騒音も残り、併せて、側溝の破損等も考えられることから、交差点から交差点までというように、連続して後退用地が出来た場合には、現地の状況を確認しながら側溝の移設を実施してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 [担当課:道路河川維持課 TEL:21-2408]</p>																																			

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
5	尻内第一	<p>【尻内駒岡運動場の管理について】</p> <p>尻内町駒岡にある永野川河川敷の運動場については、地元のお囃子団体である駒友倶楽部及び老人会の方々が、30年以上前から年4、5回、自主的に草刈りや除草剤散布などの除草作業を行ってきましたが、倶楽部会員の高齢化や減少などにより大変な負担になってきています。このため、ぜひ、市において除草の管理をお願いしたいと要望します。</p> <p>また、春には、運動場川沿いの南北170メートルに、幹周り2メートルもあるソメイヨシノ25本が見事に咲き誇り、より多くの方々に桜の花を楽しんでいただくため、自治会において桜祭りを開催したいと思っておりますので、夜桜用にボンボリと配線等の用具を提供いただけないかご検討願います。地元自治会の活性のためにも、ぜひ栃木市のお力添えを重ねてお願い申し上げます。</p>	<p>【スポーツ振興課・地域づくり振興課】</p> <p>尻内河川敷運動場等の運動場については、利用者の方に除草等の管理をお願いしており、スポーツ振興課においては除草剤の提供を行っております。</p> <p>除草等の管理については引き続きご協力をお願いいたしますが、尻内河川敷運動場の主な利用者は高齢の方と推測されますので、市においても年1、2回の草刈りを実施したいと思いますので、実施希望時期についてご連絡をいただければと思います。</p> <p>また、桜祭りの際のボンボリのご要望でございますが、本市では、新たな取り組みとして、各地域の住民の代表組織である「地域会議」を、平成27年度より組織しています。地域会議の役割の1つとして、各地域における様々な課題を解決するために、一定の枠内で、地域の皆様が予算の使い道を考える「地域予算提案制度」があります。栃木西部地域全体で活用できるものを地域予算提案制度により購入することについては、栃木西部地域会議の中で検討が可能です。</p> <p>また、寺尾地区には、まちづくり実働組織として、「寺尾まちづくり協議会」が、既に組織されています。市では、実働組織の年間事業計画に位置付けた事業に補助金を出して支援しておりますので、新たに桜祭りを事業計画に位置付けるなどして、寺尾地区全体で事業化することも検討してみたいかがでしょうか。</p>	<p>【スポーツ振興課 TEL:25-0930・地域づくり推進課 TEL:21-2331・生涯学習課 TEL:21-2486】</p> <p>ボンボリの提供につきましては、一自治会へ個別に提供することは難しいことから、左記回答のとおり、地域予算提案事業またはまちづくり実働組織における新たな事業化を提案させていただいたところではありますが、この他、一般財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業の案内を行いました。</p> <p>コミュニティ活動に必要な備品の整備など、地域社会の健全な発展等を目的とした事業に助成されるもので、詳細は、生涯学習課に問い合わせいただくよう案内しました。</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
6	川原田南	<p>【単位自治会における自主防災組織の設立について】 自治会における自主防災組織設立に取り組んでいくうえで、災害発生時に避難困難者への支援については、民生委員との連携も必要と思うが、具体的にどう避難を進めるべきか教えてほしい。 避難場所は、まず自治会内の公民館を考えているが、そこから小学校などの広域避難所への移動をどのようにするべきか、自治会内の公民館に緊急物資を備えておくべきかについても教えてほしい。 さらに、形骸的な組織とならないための留意点や、避難訓練のありかたについても、ご教示願いたい。</p> <p>【当日再質問】 これは質問というよりも感想ですが、自主防災組織について、立ち上げるのはそう難しくはないなという気はします。ただ、立ち上げた後の組織の維持が、しっかりと保てられるのか。災害が頻繁に起こっても困りますが、災害は忘れた頃にやってくるという有名な言葉もあります。災害が遠のくと、組織も弛んでくる、ということで組織の維持ということが、今後課題になるのだと思います。そういったことを感じました。質問ではありませんので、回答いただいた方への感謝と私の感想です。ありがとうございます。</p>	<p>【危機管理課】 自主防災組織設立の取組み、誠にありがとうございます。 まず、自主防災組織における災害時要支援者への役割としましては、対象者の安否確認が重要であると考えております。その次に、避難所等への移動について、可能な範囲で地域の皆様の協力がいただければと考えております。 次に、自治会公民館を避難場所とすることについては、地域の方がまとめて避難するには、大変有効でありますので、地区の皆様の約束事として確認していただきたいと思っております。その後の移動につきましては、徒歩での移動が基本となりますが、自動車での移動が可能であれば利用することも差し支えありません。しかし、状況によっては、移動することによりかえって危険が生じることもありますので、周辺の状況を確認のうえ移動するか、その場所で待機するなど冷静に行動していただきたいと思っております。 次に、公民館への物資の備蓄であります。自主防災組織を設立して市の補助金を活用し、非常食などを備蓄している自治会もございますので参考にさせていただきたいと思っております。 自主防災組織の活動を円滑かつ効果的に実施していくためには、地域における防災活動の中心的な役割を担っていただく「防災リーダー」の存在が重要と考えております。この防災リーダーの方には、ぜひ県や市で実施する「防災リーダーの育成研修会」にご参加いただきたいと思っております。 最後に、避難訓練につきましては、災害の種別により避難の方法が変わります。災害の種別により避難の際の危険箇所も異なりますので、地域の状況を確認しておくことが重要であります。危険箇所を調査してマップ化することによって、より視覚的に見ることが可能となりますので、大変有効な取組みになると思っております。また、避難訓練に加えて、子どもを対象とした消火器体験や炊き出しを行うなど、地域の皆様が楽しんで参加できる工夫をしていただけるとさらに良いと思っております。 なお、防災に関しましていつでも相談に応じますので、気軽にご連絡いただきたいと思います。</p> <p>【危機管理監】 まさにおっしゃるとおり、自主防災組織を立ち上げた後の活動が大変重要になると思っております。回答の中にも書かせていただきましたが、やはり活動を継続していくためには、組織のリーダーとなる方の存在が重要になります。その方に対しまして、現在、県が実施している自主防災組織のリーダー研修会、または次年度以降は市独自の研修会等も検討していきたいと思っております。その中でいろいろ知見を高めていただきながら、それをまた自主防災組織に持ち帰っていただき、活動を活性化していただきたいと考えております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 〔担当課：危機管理課 TEL:21-2552〕</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
7	仲方	<p>【豪雨対策について】 昨年、仲方・梓の堤防崩壊への対応を依頼し、河川管理者である県に対応を要望するとの回答だったが、新千塚橋の工事箇所の上流は、堤防が単なる土手の様で、今後、異常気象等の発生を踏まえると何らかの対応をしていただきたい。 また、仲方・梓地区には防災の放送が聞こえない場所があるので、何らかの対応を願いたい。</p> <p>【当日再質問】 『竹林の中にある堤防にはコンクリート製の連節ブロックが設置してあり』、となっていますが、これは浸食されていて砂利が見えています。果たして県の方が現場に見に行き、きちんと確認しているのかどうか。これをやったとしても、いつごろやったのか、資料もないです。おそらく私が子どものころだと思います。4、50年前。市の方から県の方に要請していただいて、現地の調査をしてから、こういった回答を出してもらいたいと思います。 梓町と仲方町のちょうど境界部分があるのですが、梓町の部分は、きちんとした堤防があります。で、その先には竹林になっていますよね。そこは全然低いです。その辺も見ていただきましたか？今年度ぐらいまでは梓町の方はきちんと堤防を作っていました。 高さがあきらかに違います。綺麗に整備されている部分と。</p>	<p>【道路河川維持課・危機管理課】 ご要望の箇所につきましては、永野川を管理しております県に確認したところ、外観から確認することは困難であります。竹林の中にある堤防にはコンクリート製の連節ブロックが設置してあり、河川整備は完了済みであるということでありました。また、異常気象等の出水に対しましては、日常の河川監視を強化して、未然に災害を防止できるように努めて参りたいということでしたので、地域の皆様には今後ともご理解とご協力をお願いいたします。 同報系防災行政無線につきましては、平成26年度から順次整備を進めており、昨年度までに、110箇所の整備が完了しております。 仲方・梓地区周辺では、老人福祉センター福寿園と旧寺尾南小学校に設置しておりますが、距離も離れていることから聞こえにくい場所もあると考えております。 つきましては、今年度におきまして仲方地区内への設置を行うことで調整を進めておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>【建設水道部長】 ご質問の場所については、市の方でも現場を確認しました。また、県にも行き、県の河川整備計画を見せてもらい、計画流量断面通りできていることを確認しています。ただ、河川には小段があり、小段の上の連結ブロックの話になりますが、その下に確かに砂利が見えているところがあります。これは護岸ではなく、河川敷の一部ということで、例えば少し欠けていても、流量断面は間違いなく確保してあるとのこと。また、竹の中に連結ブロックがあることにより、堤防の方は強固になっていますので、大丈夫かと思えます。またこのことについては、質問いただいた時に、県に行きまして確認しています。 こちらの図面を県に持っていき、県の計画図と照らし合わせた中での回答となっていますので、間違いなく大丈夫かと思えますが、もう一度県に確認をして、直接ご連絡をしたいと思えます。 綺麗に整備されている部分は、橋梁を作った部分でして、橋梁のところは、橋梁の下の桁が、その計画水量に達するという問題がありますので、一般的にどうしても橋梁の部分だけは高くなっています。その前後については、それが本来の河川の計画流量断面ということで、間違いなく整備されていますので、計画に対しての流量は確保しているということになると思えます。 もう一度、県に確認しますので、よろしく願います。</p>	<p>【道路河川維持課 TEL:21-2408 ・危機管理課 TEL:21-2551】 県に再確認したところ、「回答は左記回答要旨のとおりです。護岸整備時期については、調査しましたが不明です。」との回答をいただきました。 平成29年度の仲方・梓地区周辺の同報系防災行政無線の整備箇所については、仲方町の仲方公民館、梓町に隣接する尻内町の尻内第一集落センター、宮町の宮ノ橋西の3箇所に設置しました。</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
8	参加者	<p>【シビックコア整備計画について】</p> <p>シビックコア整備計画ですが、常に、駅前周辺は盛り上がるのではと一見思いますが、駐車場の問題があるのではないかと思います。</p> <p>また、シビックセンターで新しい事業者を見つけて、営業をされていくということですが、福田屋のように上手いかわなくなって、市が買っているような状況になっていきますが、市の方向性を見ていくと、各地区の自治会などがだんだん薄れていく状況になっている。また、地区ごとの公民館などが集約されていきますよね。それはいいことですが、ある面、地域の活性化がだんだん薄れていて、協力が全くなくなっていく状況を生んでいる気がする。ですから、吹上なら吹上、寺尾なら寺尾というように、1つの大きなところでみんなが集まって、地域のことを考えられる、そういう地域づくりを全体で考えていかないと、1つのところにまとめたからいいというものではないと思います。合理性から考えれば、集約した方がベターだし、パソコンで全体をまとめることもできるし、昔は分散化ということで、一つの独立性を持ちながら地域が活性していて、企業もそういうことが多かったですが、今は逆に集約することでコストを下げることで進んでいます。シビックコアのようなことが栃木市にとっていいのかどうか。逆に言うと、こういう合同庁舎は、吹上みたいなどころにきて、活性化できる地域ができる、あるいは藤岡でもいい。そういうところであっても、そういうものができるように何か考えて行った方がいいと思いますが、いかがでしょうか？</p>	<p>【都市整備部長】</p> <p>まず、シビックコア地区ですが、交通の利便性の高い栃木駅前に、合同庁舎という形で国の機関を集約することで、効果があると考えています。民間の柔軟な発想・ノウハウを十分に生かした上で、行政と民間がうまく連携しながら、役割分担しながらまちづくりを進めていきたいと考えています。</p> <p>それから、合同庁舎の駐車場については、現在、国の方で設計を行っており、駐車場の台数などの詳細はこれから決まってくるところです。今の栃木税務署やハローワークの台数以上は確保される予定になっています。</p> <p>【総合政策部長】</p> <p>各地域のコミュニティが段々と希薄になっている現状の中で、地域の活性化をどう進めて行くのかという視点かと思えます。今、そういう現状にあるという認識はあります。今、栃木市では、各地域ごとの地域自治制度、という栃木市独自の制度を作っており、地域会議、地域予算制度、地域実働組織、そういったものを使ってもらいながら、地域のまちづくり、コミュニティ活動を活性化をしていただきたいということで取り組んでいます。そういった中でぜひ、地域の課題などをみなさんと協議していただいて、上手く活用しながら、地域の活性化に向けた取り組みをぜひしていただきたい。そんな活動をこれからも引き続きしていきたいと考えています。</p> <p>【市長】</p> <p>当然整備をしていく過程で駐車場の整備も併せてやるわけですから、その整備する駐車場で間に合うかどうかというのは、これは検討しないといけないうらうと思えます。それから、そんなもん作ったって人なんか来ないんじゃないのということについても、まさにそこは栃木市の悩みであります。その最大の理由は、そういうところに何かを作っても、栃木では商売にならないという風に思われているわけです。だからと言って、あそこを空けたままでおくのかと。何かはやらざるを得ないでしょう、と。そういうものがないのであれば、そういうものを持ってくるように努力をするのがまちづくりですから、我々はそういう思いの中でやっていきたいと思っております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p> <p>〔担当課：都市計画課 TEL:21-2431・地域づくり推進課 TEL:21-2331〕</p>
9	参加者	<p>【寺尾南小学校の利活用について】</p> <p>寺尾南小学校の件です。はっきりした回答がないのですが、例えば、寺尾の場合にはイノシシとかいろいろいて、そういう施設に貸すとか、違った観点というのも必要ではないでしょうか。ただ老朽化していくのを待っている感じでは、これから先ほどの市の方針としますと、総合支所にしても、文化会館にしてもだんだん閉鎖していく観点の中で、何か再利用できるような考え方ができるのかどうか、お聞きしたい。</p>	<p>【総合政策部長】</p> <p>今現在寺尾南小学校の利活用について、市の基本的な考え方は、利活用についてこういった活用でどうでしょうか？という感じで、地域の方にご提案をすることでお話を進めてきていると思えます。と言いながら、なかなか現実的に市の方から有効な活用方法についてご提案できない状態であることについては、お詫びを申し上げます。いくつか課題がありましたが、例えば水道の課題については今年度通ったということもありますので、そういった課題については一つ一つ解決をしているところです。ですので、具体的な提案ができるようにスピード感を持って、望んでいきたいと思えます。</p> <p>今のご提案は、ジビエとかそういった、イノシシとかを上手に加工するような施設という意味ととらえましたが、そういうことも含めまして、これまでのふれあいトークの中でも皆さんの方から子どもの施設という話も聞いていますのが、いずれにしましても、具体的な提案を少し、時間を区切りながら、整理した上で皆さまにご提案できるように努力してまいりますので、もう少しお時間をいただきたいと思えます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p> <p>〔担当課：総合政策課 TEL:21-2302〕</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
10	参加者	<p>【ゴミ収集車の危険運転について】 今日、この懇談会に来る時に、青いゴミ収集車がいきなり右折してきて危険だった。全員ではないと思いますが、少し運転の荒い方もいるようなので、なんとかしていただければと思いました。</p>	<p>【環境課長】 ゴミ収集車の件については、大変ご迷惑をかけました。市内でゴミ収集をやっている会社が9社あり、その9社で組織を作っていて、勉強会などもやっています。その折に、荒い方がいるようです、ということで、ふれあいトークの場で意見が出ましたという話をお知らせしたいと思います。その他に一般廃棄物収集許可を持って行っている業者もいますので、そういう業者にも、クリーンプラザに来た際に周知をしたいと思います。指導してまいりますので、よろしく願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 〔担当課：環境課 TEL:21-2144〕</p>
11	参加者	<p>【二又橋から白地沼周辺の整備について】 二又橋から白地沼にかけて、あの辺一帯について考えていただきたいと思えます。答えはけっこうです。 数年前に苺園から白地沼周辺の歩道を作るように提案しました。まだその答えは出ていないのですが、現在、苺園から川原田町内の中で、県の方から、二又橋から苺園に入るところの橋までの間、田んぼのところを遊水地ということで工事しています。この間、市の方にうかがいまして、これはどうなっているのか聞きましたら、県の方で9月いっぱい完成したら、その時の段階で、今度は白地沼、苺園の北側から川原田東にかけてのあの辺の整備について考える。こういう答えをいただきました。毎年、川東とか苺園で草刈りや清掃をしている。これから、あの辺をもう少し、白地沼それからしめじがはら、合戦場駅からその辺を全体にかけて、環境美化あるいは遊園地とか、あるいは自然公園とか、総合的に地域の人があるいはよその地域の人が合戦場駅から降りて、あの辺を散歩したり、史跡を見たり、ちょっと行ってみたいと思えるような整備をしていただきたい。</p>	<p>【建設水道部長】 白地沼の件については、確か3年ほど前にご意見をいただき、白地沼周辺の環境整備ということで脇に側道を作ろう、という話をしたかと思えます。担当者レベルでは、ある程度計画は持っていますが、県の方の整備もありまして、県の方の高さが決まった後に市の方が追っかけて整備していく予定です。また、県の方も巴波川の今回の豪雨災害を受け、優先的に遊水池については、2か所、工事をやっているかと思えます。少しずつではございますが、整備していきますので、よろしく願いいたします。 それから、総合遊園地というのは、ちょっと先の話になるかと思えますが、まずは白地沼の脇の側道の方を少しずつ整備していきたいと考えておりますのでご理解ください。</p>	<p>【道路河川整備課 TEL:21-2785】 県で整備しております巴波川の遊水池につきましては2箇所を1箇所に統合し、12月に完成しました。</p>
12	参加者	<p>【公園の樹木管理について】 質問ではなく、考えを述べさせていただきたい。大森町は区画整理を終え、当地区には公園が3つほどあります。大森町では真ん中のわくわく公園を自治会で管理しています。そこに樹木があります。かなり繁茂しているということで、市の方にお願いして、枝等を切っていただきました。この公園は、すべて市の方にお願いするのではなくて、自分たちでできることはやろう、ということで砂の投入や整地、草刈り等は我々でやっており、おかげさまで比較的綺麗になっています。 堤防に繁茂している草については、市の方にお願いしています。こちらもやっていきますし、依頼があった時にはよろしく願いしたい。</p>	<p>【建設水道部長】 日頃から公園の美化活動では、大変お世話になっております。栃木市の場合、アダプト制度というのを設けていて、市民のボランティアによる河川や公園、また道路等の草花、草刈り等をやっていただいております。大変助かっております。市の方では、先ほどお話がありましたが、大きな木などについては、地元でやるのは大変だと思いますので、市に言っていただければ、市の方でやりますので、その辺の連絡を密にして、引き続き公園等の美化活動につきましては、よろしく願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 〔担当課：公園緑地課 TEL:21-2413〕</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
13	参加者	<p>【自主防災組織の維持について】</p> <p>自主防災組織ということで、一応防災組織ができました。これをPRしようと、今年の7月23日にイベントを、サマーフェスタ大森と名をうって、計画しました。市の方からテント等をお借りして、あるいはとち介にも来ていただきました。また、消防署の方に依頼して、消火器の取り扱い、訓練、あるいは煙の中の体験、人工呼吸など実施していただき、まあまあうまくいったかなと思っています。ということで、市の協力に対して感謝します。当時は町内の有志により、露店も出て、第1回目にしては盛大にできました。これからも自主防災組織を上手く活用していきたい。作った方がいいが維持するのが大変ということもありますので、これからも市の何らかの援助などいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>	<p>【危機管理課】</p> <p>大森地区で自主防災組織の設立ということで、大変ありがとうございます。また、吹上地区におきましては、吹上地区自主防災組織推進協議会ということで、地区を上げて自主防災組織を設立いただき、重ねてお礼申し上げます。自主防災組織については、当然防災の面でも役に立つわけですが、地域のコミュニティの活性化という意味でも役に立つと考えていますので、市としてもできる限りの支援をしたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。</p> <p>【市長】</p> <p>大森の自治会の方からのお話で、園の管理、今年、初めての夏祭りの開催、というお話がありました。自治会、あるいはその地域が一生懸命自分たちの住んでいるところを良くしていこうという思いで活動していただけることは、大変ありがたいことだと思います。こうした活動が徐々になくなってきつつあるのが、正に問題だと思います。このことについて、大変先駆的な活動をされておられると思います。これからもぜひ、みなさんでいろいろ課題はあると思いますが、頑張ってください、より良き地域になっていくよう、みなさまご自身でも、頑張ってくださいと思います。市の方でも一生懸命応援させていただきます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p> <p>[担当課:危機管理課 TEL:21-2551]</p>
14	参加者	<p>【阿寺倉用水堰について】</p> <p>さきほどの永野川の堤防が壊れているという話の500メートルぐらい上流に上りますと、阿寺倉用水堰というのが、仮称ですが、今、あります。これは、上川原開発のために、市の方に協力しまして、その時に最後の組合長としていろいろとやったのですが、地主がいなくなったので、解散しました。現在は財源も何もありません。でも、現状を見ると、2年前の9月の大雨のために、その堰がものすごく壊れています。それを直す費用は地元にはありません。現在、高さにすると、堰の上と下では、5メートル以上の段差があると思います。役員の最後の頃、県の土木の人が阿寺倉用水堰を見せてくださいと来たのですが、西方堰とか、大光寺堰と比べると河川が小さいのでランクが下のようです。その後の話がありません。上川原の産業団地も綺麗になって、すべてを市に移管したわけです。堰をどのように市としてやっていくのか、また、現在の上川原団地の状況をお聞かせください。</p>	<p>【産業振興部長】</p> <p>千塚の上川原の産業団地の造成等につきましては、地元のみなさまのご協力、本当に感謝申し上げます。おかげさまで、間もなく全部が竣工して、秋口には竣工式を地元もみなさんと一緒にやっというところで現在、計画をしています。売れ行きの方も我々が想定しているままでの売れ行きということで、胸を撫で下ろしているところです。阿寺倉堰の話ですが、出来上がったからといって、地域の皆さんが水が必要ないとか、そういうことは一切ございませんので、市としましては、今後も地域の皆さんと共に、水の管理等々につきましては、一緒になって考えていかなければならないと考えております。市の方で何ができるのかという部分については、現場の方をよく確認しまして、地域の皆さんに相談しながら、どんな対応が可能か、今後も話し合いをしながら進めていきたいと思っております。</p>	<p>【農林整備課 TEL:21-2386】</p> <p>要望のあった翌日に、産業基盤整備課と現地を確認しました。阿寺倉堰につきましては、農業用水を最も必要とする時期に、表流水が堰上流部で地下に潜ってしまうため、現在では、農業用水としての利用が困難となっております。表流水が確保でき、堰を改修する場合、多額の費用が必要となりますが、用水の受益面積、受益者数が少なく国庫補助事業として採択される見通しが立たず、市及び受益者の負担が大きくなるものとなります。要望者に上記の状況をお伝えし、現状の機械用水での対応をお願いいたしました。また、要望者と現地確認をし、今、市が対応できる阿寺倉堰付近の浚渫や、用水取水口付近の土留めや堀さらいを実施し、完了後、要望者に確認いただき、了承を得ました。</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
15	参加者	<p>【市内の産科の現状について】 少子化対策に関連しまして、産科の現状についてお聞きしたい。市内には16万都市で産科がたった1軒になってしまいました。そのため、非常に混みます。これは一つの政治課題として対応してもらいたいということと、中核医療を担う、メディカルセンターにも産科がない。こういう状況で少子化対策になるのか。側聞ではありますが、メディカルセンターが当初立ち上げの時に、独協医大からの支援要請を断ったという話を聞きました。その事実関係と、もしそれが事実であればどういう経緯でそうなって、依然として産科ができないのか、その辺のところをお聞かせ願えればと思います。</p> <p>支援を断ったという事実はあったのか、なかったのか。その支援を受け入れていけば、産科もできたのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。</p>	<p>【保健福祉部長】 お話のとおり、栃木市には今まで2か所の産科があったわけですが、6月末に急きょ樋ノ口のサンレディースさんが婦人科は残されて、産科を辞められたという状況で、市としても憂慮しているところです。今現在、大平のレディースクリニックさんが1か所というところ。以前から話が出ているのが中核病院であるメディカルセンターに産科を作れないかということの話は市民の方、たくさんの方からいただいています。市としても産科については要請をしているところですが、産科の先生の数が全国的にも少ないという中で、栃木市に産科の先生が来ていただくことが大変難しいところがあります。しかし、市としても1か所になってしまったということで、本腰を入れてどうにかしていかなければならないと考えております。</p> <p>もう一つ、独協医大との関係ですが、その件については、聞いておりません。独協にすべてお願いしたとしても、産科の確保は無理だったと思います。やはり、近隣の大学病院の二つにお願いしなければ、独協だけをお願いすれば、自治医大や千葉大の先生がすべていなくなってしまうという可能性もあったかもしれません。そういった意味で、近隣の大学病院とは、良好な関係を今保ち続けていますので、自治医大・独協・千葉大も含めて、医師の確保については、市としても積極的に行っていきたいと思っております。</p> <p>【市長】 少子化対策、というよりは、産科がないぞ、という話でございました。これまで、2か所、民間でありまして、2か所あるというのは、比較的いい方でした。小山市さんの方では、小山市民病院でも産科はありませんから。これは栃木市だけの傾向ではなくて、産科そのものが今どこでも減ってきております。病院でも産科を確保することが難しくなっております。メディカルセンターの建設をしていくにあたって、当初は小山市民病院とも相談をして、産科については、小山市民病院が最初はなんとか引き受けられないか、ということで提携をしていくことも協議をしていたのですが、小山市民病院でも難しい、ということで、ついにできなかったという経過があります。そのことと、独協医大からの支援を断ったからできないか、ということとは関係ありません。産科そのものがどこでも今は厳しくなっているとのことであります。とちぎメディカルセンターでも今のところできていませんが、なんとか、産科も設置すべく、医師を見つけることが最大の急務です。独協さんの方でも今は派遣が難しいようです。それが現状だろうということをご理解いただきたいと思います。</p> <p>それから、独協医大からの支援を断ったのか、ということでございます。はっきり言いまして、それは私に対して言われたことであろうかと思っております。そういうことは、ございません。ので、ぜひともそういう誤解は解いていただきますようお願いをいたします。独協医大さんとは、現在も友好な関係を保っておりますので、自治医大とも友好な関係を保ちつつ、メディカルセンターへの医師への派遣について、大変ご協力をいただいております。これからも、そうでなければ、メディカルセンターは立ち行きませんので、大学病院との提携をしていかない限りは、メディカルセンターそのものの存続が難しいので、これからも良好な関係を保っていききたいという風に考えております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課：健康増進課 TEL:25-3511】</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
16	参加者	<p>【小中学校の適正配置について】 小中学校適正配置推進協議会というのが、来月の5日に寺尾地区で話し合いが行われます。市の方では、建て替え又は廃校にするとか、合併にするとか、公共施設適正配置の資料には書いてあります。これから協議する、小中学校適正配置推進委員会の方では、あくまでも寺尾の問題で、中学校をどうするか、という話は進めているわけですが、市の方としては、こういう風にかかかっていると、どういうことなのかな？と思いました。この話とは別に問題を進めていった方がいいのか。そのあたりを少し聞きたいと思います。</p> <p>また、寺尾地区で、今年の中学1年生が、小学校の時に11人いたのですが、今は1人だそう。今、中学校を選ぶのはどこでもいいということで、学校の先生が、少ないところに行くよりは、まとまって大きいところに行った方が部活もできるから行った方がいいよ、ということで、心変わって行ってしまったらしいのです。聞いた話ですが、11人もいた子どもが1人になってしまうという、そういう状況はおかしいと思いませんか。わざわざ栃木に家を借りて子どもを学校に行かせているという話も聞きます。地域で子どもを育てる、というようなことも市の方でも考えてもらいたい。(要望)</p>	<p>【教育部長】 教育委員会では、平成28年の2月に小中学校の適正配置基本方針、というものを定めて、それに基づいて、今お話のありました、9月5日の地元代表協議会の会議を開催させていただこうということです。先ほど、市政報告でございました、公共施設の総合管理計画、この計画とは、全く関連がないわけではありませんが、別物としてやっています。市政報告の適正配置計画の資料を見ますと、人口減少とか歳入の減少、更新費用の増加とか、そういったことを背景に、この公共施設の適正配置については、検討が進められているわけですが、小中学校の適正配置の基本方針は、あくまでも、人口減少は同じかもしれませんが、あくまでも教育環境の維持向上、教育の質の向上を目的にして、策定をした基本方針です。基本方針では、小中学校の望ましい規模、の基本的な考え方というのをまとめました。大きく視点が2つございます。1点が、学ぶ環境の充実という点です。2点目の指導体制の充実の視点というものがございます。そういった方針をたてまして、平成28年、昨年度は地元説明会とかアンケートとかをさせていただいています。今年度については、地域の方々の代表の方にお集まりいただき、統廃合も含めた、将来の学校の在り方について、検討をさせていただこうと考えており、第1回目が、寺尾ですと9月5日でございますけれども、ぜひとも一緒になって、地元のみなさんと一緒になって学校の在り方、今後の方向性について検討させていただきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>【市長】 学校の適正配置に関して、ご意見・ご質問がありました。最初に11人いたのが1人になってしまったというお話で、それが現実でございます、まさにそういうことこそが問題になるわけです。だからそれをどうするのか、ということ考えざるを得ないだろうということです。現在では、寺尾小をこのまま、寺尾地区の学校としてやっていけるのかどうか。それから、寺尾中も大丈夫なのか、ということ考えざるを得ません。ぜひ、そのことについてはご理解をいただきたいと思えます。様々な理由で、わざわざ住民票を移したりすることによって、他の学校にも行かせ始めている。それは他の地区でも同じような現象は起きています。ということなので、それをどう考えていくかを、みなさんにもぜひ、協議に参加をしていただければと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 【担当課：教育総務課 TEL:21-2461】</p>